

令和6年度 第1回新潟市北区郷土博物館協議会 会議（概要）

日 時：令和6年7月11日（木）午前10時～11時

場 所：新潟市豊栄地区公民館大講堂

出席委員：6名

阿部美恵子、内山真野子、北上あつ子（副会長）、倉地一則（会長）、なぐも友美、  
本井春信  
（五十音順、敬称略）

欠席委員：間由香里・貝沼良風 （五十音順、敬称略）

傍聴者：なし

事務局：（北区地域総務課）江戸誠一 課長 、田中 健 課長補佐  
（北区郷土博物館）伊藤 健 館長〔司会〕、大森慎子 主幹（学芸員）〔記録〕

資 料：当日配布資料（別添） 会議次第、資料1、資料2、別表

### 会議のあらまし

- （1）江戸課長より「公の施設に係る受益者負担の設定基準」に基づく観覧料等の取扱いについて、新潟市の方針及び北区郷土博物館の有料化についての条例改正案について説明の後、北区郷土博物館の有料化について各委員が意見や質問等を述べ、江戸課長から回答及び説明を行った。
- （2）北区郷土博物館の地震展に関して各委員の感想・意見が述べられた。  
また、その他の意見としてなぐも委員から企画展の提案が出された。

### 会議概要

#### 1 開会・・・・・・・・伊藤館長

定刻前ではありますが皆さまお集まりですので、令和6年度第1回新潟市北区郷土博物館協議会を開催させていただきます。あらためまして、日頃より皆様方には当館の運営にご指導を賜り誠にありがとうございます。

本日の委員のご出席は6人です。2人が都合によりご欠席されておりますが、新潟市北区郷土博物館条例第21条によりまして協議会は成立をしておりますので、ご報告させていただきます。

記録の関係上、録音をさせていただきますが、ご了承いただきたいと思います。  
配布資料の確認をさせていただきます。（略）

それでは、会議次第に従いまして進めさせていただきます。次第の2あいさつです。どうぞよろしく願いいたします。

## 2 あいさつ・・・・・・・・倉地会長

**倉地会長** みなさんおはようございます。珍しく午前中の会議でございますが昨夜は豪雨で避難所を開設したとも聞いております。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

令和6年度に入り、5月・6月と新潟地震の特集の写真展が開催されまして、マスコミにも何社かから取材があったと聞いております。私も拝見して、新潟市の中心部の写真は比較的今までもありましたが、本井委員が提供された写真や、地元の皆さんの写真があり、画期的な特色のある良い企画展だったと思っています。

今日は懸案であります博物館の有料化について具体的にご説明いただくということであります。博物館でも合併以来の大きな転機になることですので、説明を聞かせていただき慎重に審議させていただきたいと思っております。どうかよろしく願いいたします。

## 3 あいさつ・・・・・・・・江戸課長

**江戸課長** おはようございます。本日はお忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。4月から北区副区長兼地域課長を拝命しております、江戸と申します。よろしく願いします。会長からもお話しがあったように、昨夜かなりの豪雨で、太郎代地区で避難所を開設させていただきました。ただ、避難された方がいらっしゃらなくて大事には至りませんでした。今後、安心安全の地域に向けて努力していきたいと思っております。

委員の皆様におかれましては、日頃より博物館の運営とご理解の上にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。本市では全庁的に公の施設の使用料や観覧料の見直しを進めております。当博物館においても受益者負担の考え方にに基づき、来年4月から新たに観覧料をいただくことになりました。本日は急なご案内となってしまいましたが、その概要をご説明させていただきます。委員の皆様には、お立場から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。簡単でございますが、ご挨拶とさせていただきます。

## 4 議事

**伊藤館長** 倉地会長から議事の進行をお願いします。

**倉地会長** でははじめに議事（1）公の施設に係る受益者負担の設定基準策定」に基づく観覧料等の取り扱いにつきまして、事務局から説明をお願いします。

(1) 「公の施設に係る受益者負担の設定基準」に基づく観覧料等の取扱いについて、新潟市の方針及び北区郷土博物館の有料化についての条例改正案

江戸課長 資料1「公の施設に係る受益者負担の設定基準」に基づく観覧料等の取扱いについて」に基づいて説明。

○北区郷土博物館の有料化に関する意見・質問等（➡は江戸課長による回答・説明）

阿部委員 放課後子どもが自由に入出入りする施設なので中学生以下無料は有難い。有料化の考え方は否定できないが、有料化のための設備・人の状況はどうなのか。

江戸課長 ➡ランニングコストとしてパンフレット修正2万円・入館券年10万円人は現在の人員で対応。窓口は今のまま、券売機は難しい。

なぐも委員 登録博物館と博物館相当施設との違いを教えてください。国が定めるのか。

江戸課長 ➡いずれも国が定める法律に則り申請して認められたもの。登録は法に定められた基準を全てクリアしている。相当施設は教育委員会に属さないなどがあるが、基準は満たす博物館。類似施設は基準には満たないが博物館施設に準ずる活動を行なっている。「登録」と「相当」で役割は変わらない。

北上委員 以前からこの博物館は非常勤職員が多く、勤務時間が厳しい中で多大な業務をこなし、大変なのを拝見している。そこにプラスして現金收受、会計処理を現メンバーで行うのは非常に酷な話と思う。3月にいただいた資料で「受益者負担を求める費用」の管理費にも人件費、光熱水費、修繕費、清掃保守の委託料とある。区役所にも人的な配慮をしてもらわないと、業務量が増え、たちゆかなくなるのでは。銀行員が回収に来る時代でもない。こういう実態をどのように把握しているのかが、見えてこない。

江戸課長 ➡人的業務量が増える。が人員要求は厳しい。区役所も含め全市的に職員削減をうたっていて、厳しいのは博物館だけではない。その部分は吸収しながら行うしかない。市全体で削減できる業務を見直し行っている。

北上委員 券売機など、人的負担の軽減の工夫の他施設の状況調査はしたか。

江戸課長 ➡券売機導入費は180万円、施設間の連絡は取りあっているが、かなりの入場者数がないと厳しい状況

本井委員 業務量がなし崩しに増えることを懸念している。入場者が少ないと言っても業務量は必ず増える。少額であっても公金なので責任も関わる。重く

意識しないと、今の体制の中でこの程度大したことないという安易な考えが見える。行政はとにかく先に行って考えれば良いという、悪い考えがある。複数の選択肢の先読みを深める必要があると思う。

**江戸課長**     ➡業務量は増えるが、人件費が収入を上回るので厳しい状況。新潟市の厳しい財政状況のため難しい。利用者数が増加し、対応が不可能な状態になれば当然当局に人員の要求も、券売機などの財政的なバックアップも要望していかなくてはならない。今のところはそんな状況。

**間 委員**     小中の子どもたちにとってなじみのある施設。見学だけでなく、スイミングのバスを待つ間や、トイレ、冷水器など、大人になっても思い出を語り地域の人たちの馴染みの施設である。中学生以下無料は有難いと思っている。

時々訪問すると、事務所にほとんど人がいない。そんな中、そこそこ来館者の出入りがあり、有料化になると一人一人を確認して、この人は無料、この人は有料と判断する必要が出てくるので負担が大きくなると思う。事務室にいるからといって暇でなく、電話対応、企画、打合せなど他の仕事もしている。1年で170万円を超える見込みがあれば、180万円の発券機を入れることを、協議会として必要な経費として要望していきたい。

小学校では、バス代が高価で訪問できないことも増えてきて、出前授業もたくさんやっていた。有料化されて人員が割かれ、出前授業の回数も減ってゆくであろう。北区の施設として子どもたちに対しても企画を考えてもらい、利用させてもらっているが、ゆくゆくは、施設がなくなってしまうということにもなりかねないという危機感を感じる。

もうひとつ団体割引も考えているということだが、新潟市内の多くの施設は減免がある。小中学生は良いが、高校生、大学生もいるので減免についてはどうお考えかお聞かせ願いたい。

**江戸課長**     ➡券売機は予算が付かないことには購入できず、こちらの裁量だけでは入れられない。委員からの意見として財務当局に要求したいが、同様の施設も市内にはいくつもあるため厳しい状況。受益者負担は料金設定がされているが、施設に係るランニングコストや修繕費が、それに見合うだけの収入がないと財務当局が予算を付けるということは考えにくい。ご意見については受け止め考えていきたい。

児童が馴染んで大人になっても来てもらえるのは有難い。高校生も料金を下げる予定で団体割引も考え、来やすくする。減免も他の施設と足並み揃えて考えてゆく予定。

**北上委員**     券売機の話が出てしまったが、一番求めるのは人。何年もかけて北区の教育に多大な貢献をしてきている。業務見直しは本末転倒。市民会館、

まちづくりセンターもアルバイトで管理をしている。正規でなくて良いのでそれに特化した人を確保し、業務は地域や市民へのサービスを低下させないようにしないと、博物館としての意義が薄れてくると危惧する。他にも皆、人員を減らされているから、どこもそうだから、というわけにいかない博物館としての特質を考えてほしい。

**江戸課長**    ➡ご意見は受け止めさせていただきたいが、それであれば博物館としての成果を問われる。胸をはって要求できるような入場者数なのか、企画展の評価なのかは分からないが、何らかの成果を上げて、価値を高めると要求も通りやすくなる。私たちも考えは同じで人が大事と考えるが、厳しい状況を説明した。有料化に伴いブラッシュアップし、より評価を上げて、人員の確保につなげていければ良いと思っている。

**なぐも委員**    この資料を見ると、券売機があるところも、結局は人が必要になっている。展覧会によってはものすごく大勢の人が入る雪梁舎美術館は、人で対応している。やはり人が必要と思った。

有料化は当然反発もあると思う。ますます求められるサービスは期待値が高まるでしょう。体験などお金のかからないサービスを行う必要が出てくる。年間パスポートや、電子決済も求められてくる。今まで以上に人が大事になると感じている。

**江戸課長**    ➡正職増になると市の財源を上げるための有料化の意味がなくなる。券売機も入館者数を上げないと導入が難しい。なぐも委員がおっしゃるとおり、博物館の価値を高めて入館者数が増えれば要求がしやすくなるので、まずは中身の充実を図っていきたい。

**本井委員**    入館料を取るとして、1人入場者がいて100円売り上げがあったら、銀行に翌日には納めに行かなくてはならないであろう。そういう具体的な仕事がどのくらいあるのか考えなくてはならない。また、セキュリティのことも考えてほしい。過去に女子職員が銀行の駐車場で頭を殴られ、お金を奪われそうになった。万に一つでもそういうことが現実にある。日常業務でうっかり忘れがちだが、そういうリスクもしっかりと考えてほしい。

**江戸課長**    ➡現金収受は区役所でも行っていて、もっと多額な現金収受もある。例えば、区の専門の職員が博物館によってから銀行におさめに行くなどの運用で、負担減も可能になるためこれから考えていきたい。

**間 委員**    こども作品展という企画を行っているが、それを見に来た保護者からも入館料を取るとなると入館者数もかなり減るだろう。館の使い方

の制限が起こるのでは？館をどう運営するから根本を問うていかないと、これまでのようにやれることは何でも行うというようにはいかなくなるであろう。子どもの作品を見に行く場としては、県民会館やメディアシップなども入館料は取っていない。それを入館料が取られるとなると、この企画自体やるのが難しくなり、なくなってしまうのかなと思うと、全市の校長会でも認知されてきているのに、これまで博物館が行ってきたことの整合性が取れなくなると思う。

江戸課長

➡おっしゃる通り、これまでの企画との矛盾が出てくるが、子どもの絵を見に来ただけなら無料にするなどの取扱いも考えられるし、難しければ区役所のロビーに会場を移すこともできる。きちんと考えたい。

倉地会長

有料化は来館者数に大きく影響が出てくる。何とか入館者数を増やす努力をしている施設もいろいろある。例えば小沢家住宅は、着物着てきたら無料などもやっている。子どもと一緒に来た家族は無料などの企画、やり方によっては増やすこともできるのでは。年間パスポートは単館でやっても来館者増は難しいが、ビュー福島潟のパスの人が来たら100円など、他の施設の客を上手に誘導して、目減りする来館者を何とか増やす取り組みを検討していただくと良いのでは。美術館ではリピーター割引をしているし、友の会を作って友の会割引もしている。SDカードで2割引きなどもある。何かプレミアムがつくと人は来るので、多すぎると運用が複雑になるが、そういう取り組みも必要なのではないか。

シティガイドをしてもキャッシュレスの人が増えている。現金のみでなく、キャッシュレス対応を積極的に取り入れ、釣銭の誤りなどのリスクを減らすこともスタッフの負担を減すことになるのではないか。後からやろうと思っても予算が付かないので、今省力化の対応を検討していただきたい。

江戸課長

➡入館者減は委員のおっしゃるようにアイデアで増やす検討が必要。登録博物館なので学芸員がいるため、様々な企画でも来館者増が必要。キャッシュレス決済も予算を付けてもらわないとできない。市内の他館も要求している。先駆けるためにはまずは価値を高めて入館者増が必要。

阿部委員

キャッシュレスでは、小さいエアレジという安価なものもあるので、そういうものを導入して、少しでも手を煩わせないように工夫してゆく必要がある。予算がつく、つかないという議論にたどり着く前に検討してほしい。

こどもたちが自由に入出りできる楽しい施設なので、館の存続と、学芸員たちのこれからの活躍を期待し、有料化に値する施設になることを期待している。

江戸課長

➡キャッシュレスの詳しい仕組みは分からなかったが、そのような良いものがあれば検討していきたいし、もう検討もしているとのこと。場合によっては本庁の文化スポーツ部との連携や、ソースの共有化も検討していきたい。歴史文化課とは意見交換もしているところ。

倉地会長

今回有料化する中に新潟市内の巻郷土資料館には、のぞきからくりと口上というキラコンコンテンツがある。北区郷土博物館もここにすればこれが見れるなど、特徴的なものを強調できると遠方からも人が来てくれる。無形民俗が豊富などもあるので、他所との差別化を図り PR 宣伝をしていただければと思う。

江戸課長

➡のぞきからくりは見たことがある。そのようなそこでしか見られないキラコンコンテンツは、ひとつでも、ふたつでも館長も学芸員も肝に銘じて考えていると思うので、頑張っていきたいと思う。

## (2) その他

○事務局・次回上半期報告と下半期予定は例年 10 月頃を予定している。

- ・6 月 30 日まで災害の写真展を開催したが、今年の協議会でなぐも委員から 60 年という新潟地震の節目の年ということで、ご提案をいただいたのがきっかけで開催した。マスコミにも多く取り上げられ、速報値で 1,744 人という企画展では最大規模の来館者であった。身近で魅力的な企画を考えることが来館者増につながる。今後も様々なご意見を頂戴しながら運営につなげていきたい。

○地震展も含めての委員の感想

本井委員／間委員／阿部委員／（なぐも委員）／北上委員／倉地会長

○その他のご意見

なぐも委員 バスツアーを作るとき、周年なども気にしている。

今年は佐渡をテーマにするとお客様も入る。

来年は、豊栄がなくなってから 20 周年

また、50 歳の人たちが中学 1 年の時、木崎中学校が全焼した。地域の人たちがみんなで協力して体育館に間仕切りを作り、1 週間くらいですぐに勉強ができた思い出がある。地域の愛のある団結を感じた。中学校に資料が残されているので、是非紹介してほしい。

#### 4 閉会